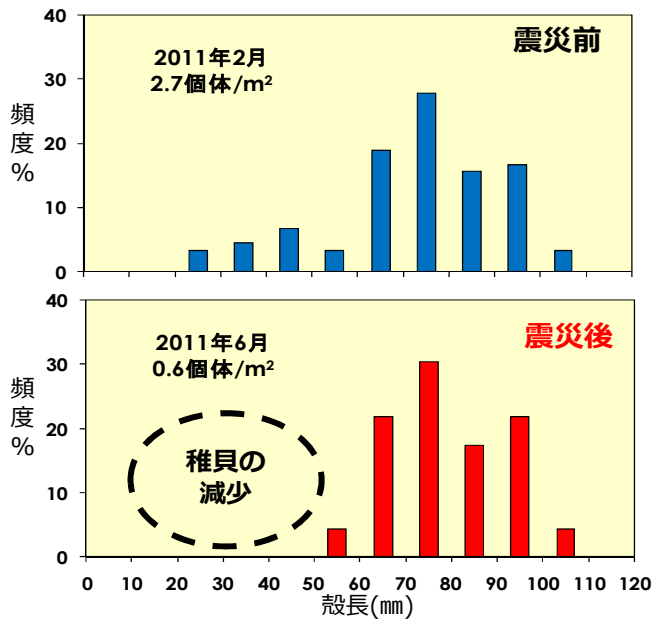


アワビの資源管理技術

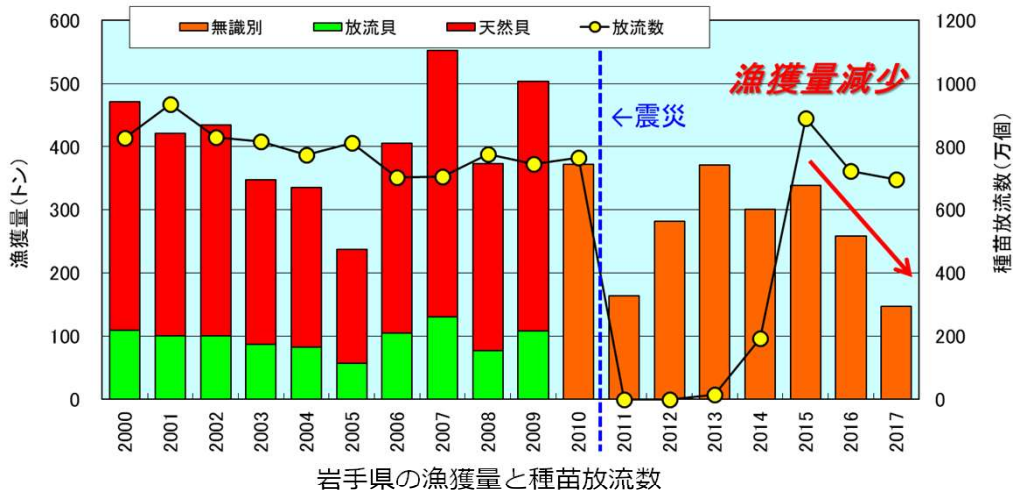
技術の概要

■ 背景

震災でアワビ稚貝がへい死し、種苗生産施設も被災して種苗放流が中断したため、アワビ資源量が大きく減少しました。



エゾアワビの殻長別分布状況の変化

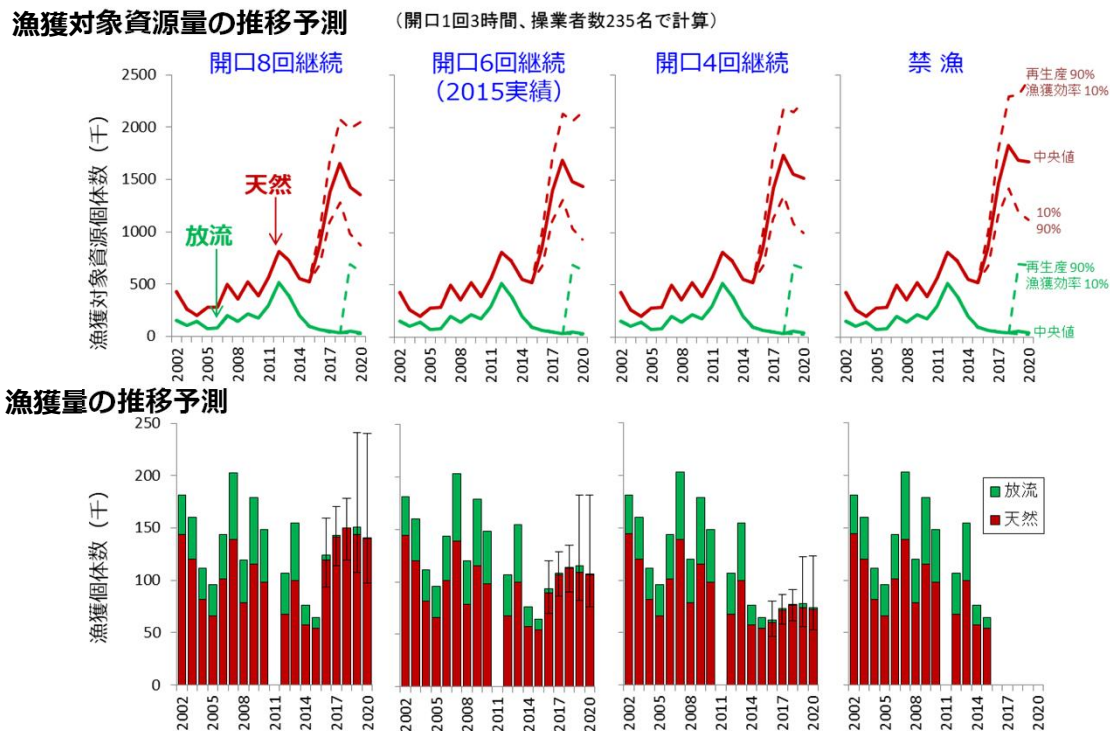


震災以降にアワビ稚貝が広い範囲で減少。
その影響により、2016年から漁獲量の減少が始まりました。

適切な資源管理と人工種苗放流による資源回復が求められています

■ 資源解析手法を開発しました！

資源状況の把握により資源量の推移を予測することができます。

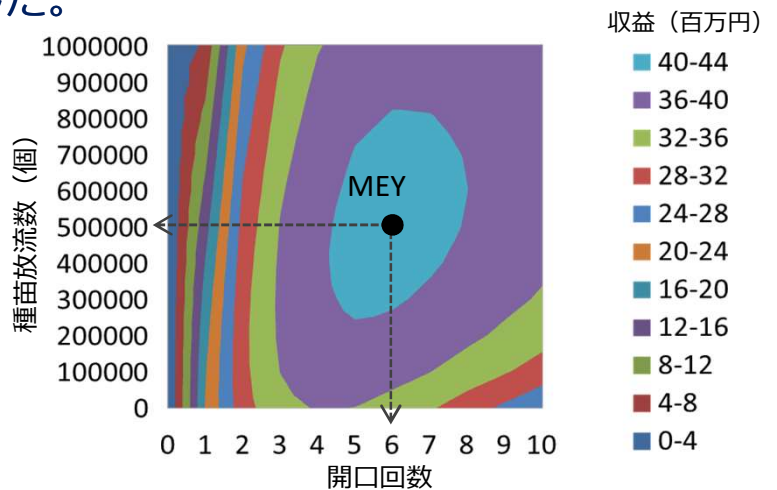


適正な漁獲努力量の目安となります

■ 資源経済モデルを開発しました。

種苗放流数、漁獲努力量（開口回数）、収益金額の関係性を推定することができます。

収益性が高くなる管理計画を作成できます



期待される効果

アワビ資源を持続的かつ有効に利用して、漁業者の収益確保と資源回復の両立が図られます。

【お問い合わせ先】 岩手県水産技術センター増養殖部 TEL0193-26-7917

当該技術は農林水産省委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の成果です。